

地区中総体・吹奏楽発表会壮行式 各部の決意表明をモニターで

7月15日、中学校で中総体・吹奏楽発表会に向け壮行式が行われました。感染予防のため、会の進行や挨拶などは校内放送でアナウンスされ、生徒たちは教室でモニターに映された各部活動ごとの決意表明を視聴。生徒会長の星川優月さんは「なかなか練習ができなかったけど、大会の開催を検討してくれた方々に感謝して、悔いの残らないプレーをしましょう」と力強く述べました。



▲各教室でモニターを見つめる生徒たち

▼金山写心倶楽部左から) 奥山好憲さん、今井正一さん、伊東忠次さん、小沼均さん、須藤幸一さん



貴重なフィルムカメラなど93台 マルコの蔵でカメラ&写真展

6月中旬から7月16日まで、金山写心倶楽部が、マルコの蔵で撮り溜めた作品と愛機の展示を行いました。県内のみならず他県からもカメラ好きが来場し「懐かしいや〜」と嘆声をもらしていました。約1ヵ月に及ぶ展示には400人ほどが訪れ、最終日の16日は、展示品の一部である一眼レフカメラを実際に触れるイベントも開催。小沼均代表は「集めたカメラが日の目を浴びた。展示会をして良かった」と話していました。

▼きつねのボタン特製の大型絵本「アリのおでかけ」を読み聞かせ／絵本にあわせて飛び跳ねる園児たち



めぐたま・子育て支援センターおひさま 読み聞かせお話し会

7月14日、認定こども園めぐたまと子育て支援センターおひさまでおはなしサークルきつねのボタン(半田季三子代表)による読み聞かせお話し会が行われました。絵本はどの家庭でも楽しめる親と子のあたたかいふれ合いです。この日は、絵本、手遊び、大型絵本を読み聞かせ。子どもたちは夢中になって聞いていました。読み聞かせは月1回行っていますので、お気軽に支援センターに遊びに来てください。



▼1.2-白岩土木建築は白山神社の参道やお宮周辺を綺麗に整備
3.4-星川建設・星輪は町道のカーブミラー磨きと仁田山平岡線、稲沢下野明線の草刈り及びゴミ拾いを実施



保護司がメッセージ伝達 犯罪や非行のない社会を目指して

7月1日から31日にかけて「第70回社会を明るくする運動」が実施されました。犯罪や非行の防止と過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。1日には、金山町の5名の保護司が佐藤町長を訪問。運動への協力依頼とともに内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。



▲左から) 保護司の松田順一さん、三上重光さん、栗田一真さん、関喜美子さん、星川忠一さん、佐藤町長



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

建設業各社がボランティア活動 「お世話になっている地域に恩返しを」

夏期安全大会にあわせて、町内の建設業各社が、清掃や草刈りなどボランティア活動を実施しました。

6月24日に白岩土木建築(株)、7月4日に星川建設(株)・(有)星輪、(株)新庄・鈴木・柴田組がそれぞれ実施。「普段からお世話になっている地域に恩返しをしたい」という思いから始まった活動です。中には15年以上も前から活動し、山形県から感謝状をもらった会社もあります。各社ともに「社会貢献としてこれからも継続して活動していきたい」と話していました。

▼松田会長から夜光反射材と熱中症予防の飴が手渡された



交通安全母の会が一人暮らし世帯を訪問 夜間の事故防止と防犯を啓発

7月6日、町交通安全母の会が主催する「一人暮らし高齢者世帯訪問」が金山駐在所及び民生委員・児童委員の協力のもと実施されました。会員13名が高齢者世帯を一軒ずつ訪問。松田聖子会長は、「高齢者の夜間の交通事故が多発しているため、夜光反射材を身に付ける習慣をつけてほしい。また県内でも特殊詐欺の被害があることから、犯罪に遭わないよう注意喚起していきたい」と話していました。